

新年のごあいさつ



市民の皆さま、新年明けましておめでとうございます。平成二十二年の輝かしい新春を迎えられましたことを、心よりお喜び申し上げます。

さて、わが国の経済は、景気が持ち直しているとはいっても、雇用情勢の一層の悪化が懸念されるなど、依然厳しい状況にあります。本市を含む西三河各市では、自動車産業を中心とする製造業の減産の影響を受け、税収、特に法人市民税の落ち込みが顕著です。景気対策の効果が出始めている産業分野もありますが、しばらくは厳しい財政運営を強いられるものと思われま

す。本市では、基金(貯金)の活用などにより、市民生活に不可欠なサービスについては、現状の水準を維持してまいります。さらに、創意と工夫による経常経費の削減、事業の見直しなどにより、財政の健全性・効率性を堅持しつつ、地域経済が立ち直るための支援その他の施策を講じ、市民の暮らしを守ってまいります。また、環境首都にふさわしい魅力あるまちづくりに向け、引き続き、ごみ減量20%のための取り組み、市街地の基盤整備、子育て支援や福祉・教育の充実など、子どもからお年寄りまで誰もが健康で安心して暮らせるための施策を積極的に推進してまいります。4月には「安城市自治基本条例」が施行されます。市民参加と協働によるまちづくりを推進するため、市長としての責務を果たすべく、一層努力してまいります。結びに、市民の皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

安城市長 神谷 学

市民の皆さまには、健康で希望に満ちた平成二十二年の新春を迎えられましたことを、議会を代表いたしまして、心よりお喜び申し上げます。

さて、昨年は政治・経済ともに、日本の戦後の歴史に残る激動の一年でありました。政治においては政権交代、経済においては百年に一度と言われる世界同時不況です。

政権交代については、長い歴史から見れば当然の出来事ではないかと言われています。その理由は、ひとつの権力が永久に続くことがまれであり、先進国の中で50年以上同じ政党が政権についているのは、日本だけではないかと言われているからです。

今、議会としましては、政権交代を冷静に受け止め、二大政党制になったメリット・デメリットを検証し、今後の市政に生かしていかなければならないと考えています。それが市民の皆さまの幸せにつながることであり、わたしたちの責務であると考えています。政治の安定こそが経済の成長につながり、国民の幸せ、市民の福祉向上に結びつくことを歴史が証明しています。

時代の流れは地方分権、地域主権に移行しています。それに対応するためには、議会改革を厳に進めていかなければならないと考えています。

結びにあたり、市民の皆さまの一層のご指導ご鞭撻(むちだ)をお願い申し上げますとともに、皆さまのご健勝と、今年一年がよい一年でありますようお願い申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。



安城市議会議長 神谷 清隆